

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 支援 - 01

学校名・団体名	八戸市立小中野小学校
HPアドレス	http://www.hachinohe.ed.jp/konakn_e/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	小中野小景観マップの作成を通して復興を PRしよう
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>小中野地区は、東日本大震災の津波による浸水被害を受けたが、防災拠点としての公民館も建設され、自主防災組織も整い、災害に強い地域づくりを進めてきている。地域では様々なイベントを開催し、観光客を呼び込もうとしている。賑わいを取り戻そうと努めている。</p> <p>本校では、生活科や総合的な学習の時間において、地域学習を進めてきた。その成果として、地域のよさを紹介するマップが各学年ごとに完成している。それを一つに統合し、「小中野小景観観光マップ」として製作し、広く発信することを通して、復興をPRしていきたい。</p>	

1 景観学習の様子

5年生・・・56名(28年度)

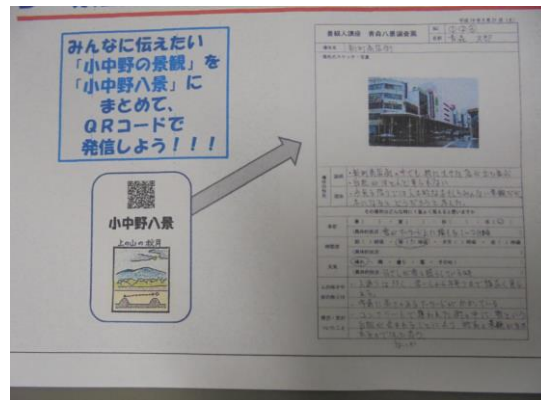
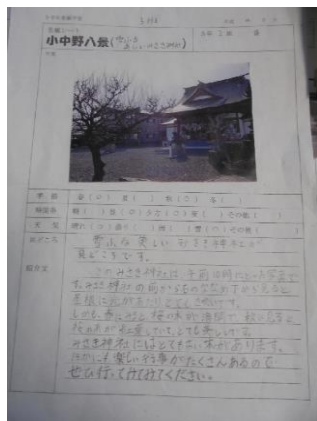
青森県都市計画課で実施している景観学習(講師：元八戸工業大学・月舘敏栄先生)の出前授業及び小中野町歩き、まとめの学習等を通して「QRコード付景観マップ」を作成した。



① 景観学習のポイント(町の看板、建物、道を調べる)を学ぶ

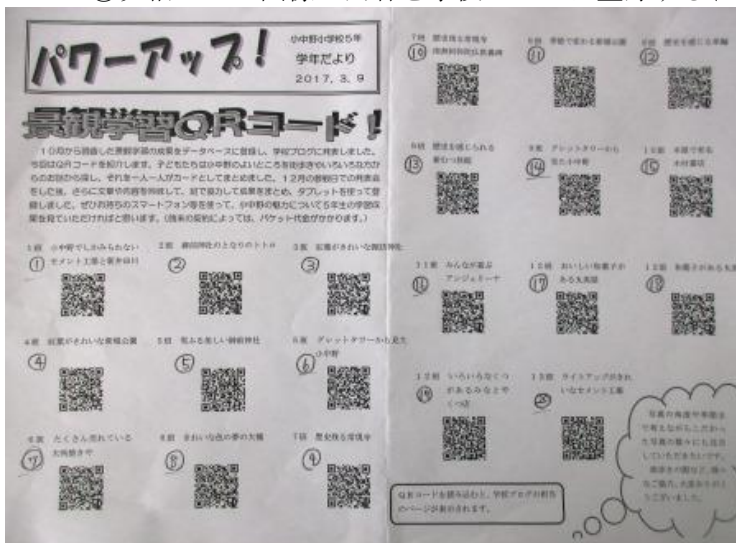


② まち歩き(13班に分かれて小中野地区を歩く、デジカメ撮影、インタビュー)



③ まち歩きしてわかったこと、画像をまとめる ④ 各班で調べたことを発表し合う

⑤ 発信したい画像と内容を学校ブログに登録する(ブログの記事にQRコードが付く)



⑥ 景観学習 QR コードを発行し、保護者に紹介する。

せっかくここまで作ったのだから、観光マップみたいに製作して、地域住民や観光客に発信したいと考えた。そこで、「ちゅうでん教育振興財団」の支援をいただき、マップづくりに取り組んだ。(29年度)

本地区の観光マップは、平成16年2月、八戸市生涯学習まちづくりモデル事業の一環として、「小中野アコレ にほさんぽ」～何を見つけられるかは、あなた次第！小中野お散歩マップ～が製作されていた。今回は、そのマップを参考にして、地図上に景観学習でまとめたQRコードを入れ込み、小中野のよさや素晴らしさ、地域の建物等の面白さを紹介する観光マップづくりに取り組んだ。



【小中野小景観マップ】の発信

- 1 日時 平成30年1月15日(月) 場所：小中野公民館
- 2 内容 小中野小景観マップ完成披露会及び贈呈式
完成した小中野小景観マップを小中野公民館に置いてもらい、公民館を利用する市民観光客の方々に知ってもらう。そのために、公民館長さんに景観マップを渡す式(贈呈式)を行う。
- 3 参加児童・・・6年1組29名、2組27名 計56名
- 4 贈呈式の流れ、内容
 - 14：00 マップができるまでの様子を紹介(スライドを使って)
 - 14：10 小中野公民館長さんへマップを贈呈(どのように活用してほしいかを述べる)
館長さんのお話
 - 14：15 当日公民館を利用している方々に児童が配付
 - 14：30 終了



【小中野小景観マップ贈呈式の様子】

3 成果や子どもたちへの効果

本校6年生が、昨年度、景観学習を通して、本地区のよさをQRコードで読み取り、学校ブログに掲載した。そして、そのQRコード一覧を手刷りして発信する活動で終わっていた。29年度『ちゅうでん教育振興財団』からの支援が決まり、マップづくりに着手することができた。

表紙のレイアウト、裏表紙の内容、各班の写真、マップを楽しくするキャラクターづくり等、様々なことを分担しながら作業を進めてきた。

1月11日にようやく完成し、「小中野小景観マップ」が印刷業者から届いた。

1月15日の贈呈式では、これまでの取組をパワーポイントのスライドで紹介し、堂々と発表してくれた。

その後、市内イベントの情報発信場所である「ポータルミュージアム・はっち」、八戸市営バス旭ヶ丘営業所待合室にも景観マップを置いてもらい、広く発信するように努めた。

自分たちの住んでいる小中野地区のよさを引き継いでいこうとする意欲が高まってきている。

小中野小景観マップづくりの発信を通して、本校児童・保護者・地域住民が、自分たちの地域に誇りと愛着を持つことができるようになるものと考えた。『ちゅうでん教育振興財団』の支援を受けたこの活動は、本地区のよさをアピールすることにつながった。この活動を通して、復興を十分PRできたものと考えた。